

上牧町第5次総合計画（後期基本計画）評価シート

行政・安全安心

令和4年度事業

1. PLAN（計画）

分野	1-1 行政運営	担当課
	① 部局間連携の推進	企画財政課
施策の展開方向	●行政機構の的確な編成に努めます。 ●多岐の分野にわたる行政課題に取り組むため、プロジェクトチームを設けるなど、横のつながりを重視した柔軟な推進体制づくりに努めます。	

2. DO（実施結果）/CHECK（評価）/ACTION（今後の取組方針）

成果指標（KPI）の状況	戦略	基準値 R02	実績値 R03	実績値 R04	実績値 R05	実績値 R06	実績値 R07	実績値 R08	目標値 R08
部局横断的な各種会議の開催数（年間）【種】	-	9 対前年増減→	9 ±0	10 +1					20
		対前年増減→							
		対前年増減→							

【評価：A…推進できている、B…推進しているが課題がある、C…推進できていない】

実施内容・成果 (D0)	評価 (CHECK)	課題・今後の取組方針 (ACTION)
取組① 横断的な庁内体制の構築 【取組の概要（背景・目的等）】 行政課題が多岐の分野に渡ることから、庁内横断的に対応することで効果的・効率的に実施します。 【実施内容・成果（R04）】 町の課題対応やイベントの実施の際には、複数の課を交え知恵を出し合い協力することで、効果的・効率的に行政運営を進めました。 ・部長会（総務課）10回 ・課長会（総務課）13回 ・予算編成説明会（企画財政課）1回 ・上牧町総合計画・総合戦略内部検証委員会（企画財政課）2回 ・新型コロナウイルス対応地方創生臨時交付金関係会議（企画財政課）2回 ・上牧町新型コロナウイルス感染症対策本部（総務課）10回 ・ペガサスフェスタ調整会議（企画財政課）1回 ・インボイス制度説明会（企画財政課）3回 ・さくら祭り（企画財政課・社会教育課）1回 ・おもしろ歴史フェスティバル（秘書人事課・企画財政課・まちづくり推進課・社会教育課）1回	A	【今後の取組方針】 今後も引き続き、町の課題に対し、1つの課で対応するのではなく、庁内横断的に会議等を実施することで、効果的・効率的に対応します。

上牧町第5次総合計画（後期基本計画）評価シート

行政・安全安心

令和4年度事業

1. PLAN（計画）

分野	1-1 行政運営	担当課
	② 人材育成の充実	秘書人事課
施策の展開方向	●研修機会の充実などによって専門的知識や広い視野で諸問題に取り組める職員育成に努めます。	

2. D0（実施結果）/CHECK（評価）/ACTION（今後の取組方針）

成果指標（KPI）の状況	戦略	基準値 R02	実績値 R03	実績値 R04	実績値 R05	実績値 R06	実績値 R07	実績値 R08	目標値 R08
職員研修の開催数（年間） 【種】	-	5 対前年増減→	5 ±0	5 ±0					10
		対前年増減→							
		対前年増減→							

【評価：A…推進できている、B…推進しているが課題がある、C…推進できていない】

実施内容・成果 (D0)		評価 (CHECK)	課題・今後の取組方針 (ACTION)
取組①	職員を対象とした各種研修の実施	総合戦略	-
【取組の概要（背景・目的等）】 研修を通じて、専門的知識や広い視野をもった職員の育成を図ることを目的としています。 【実施内容・成果（R04）】 令和4年度町主催の研修は、係長級以上の職員を対象とした「政策形成のためのファシリテーション研修」、主査級までの職員を対象とした「政策形成研修」及び「自殺予防ゲートキーパー研修」、全職員を対象とした「私債権研修」及び「情報セキュリティ研修」を実施しました。 また、市町村職員研修センターが主催する専門的な研修や各階層ごとの研修、全国市町村国際文化研修所（JIAM）が主催する研修に参加しました。		A	【今後の取組方針】 今後も引き続き、研修機会を充実させることにより職員の育成を図り、組織全体の成長につなげていきます。
取組②	実務研修生の派遣	総合戦略	-
【取組の概要（背景・目的等）】 奈良県の実務研修員制度を活用し、より一層の能力向上とともに経営感覚を身に付け、総合的な能力を備えた公務員としての成長を期待し、派遣しています。 【実施内容・成果（R04）】 令和4年度は、1名の職員を奈良県（県知事公室市町村振興課財政1係）へ派遣しました。		A	【今後の取組方針】 今後も引き続き、実務研修員制度を活用し、計画的に職員を派遣します。
取組③	専門人材の登用	総合戦略	-
【取組の概要（背景・目的等）】 多様化・複雑化する業務に対応するための専門人材を確保することを目的としています。 【実施内容・成果（R04）】 専門人材の登用については、より専門性の高い分野を見極めながら、令和4年度に採用試験を実施し、専門人材の確保を行いました。 また、専門的知識の向上を図ることを目的に実務研修員制度を活用し、職員の県（デジタル戦略課）への派遣（令和5年度）を決定しました。		A	【今後の取組方針】 今後も引き続き、より専門性の高い分野を見極めながら採用及び育成を検討します。

上牧町第5次総合計画（後期基本計画）評価シート

行政・安全安心

令和4年度事業

1. PLAN（計画）

分野	1-1 行政運営	担当課
施策の展開方向	③ 計画的な財政運営	企画財政課
●人口減少が進行する中、行政サービスを維持するため、自主財源の確保に努めます。 ●中長期を見すえた計画的な財政運営にあたるなど、各事業の規模や優先度に応じて予算配分を行い、財政の健全化及びその弾力性の確保に努めます。 ●行政コストを正確に把握し、削減に努めるとともに、マネジメントを強化し、財政の効率化・適正化を図ります。 ●事業の優先度や実施効果に配慮した予算編成にあたるなど、健全で計画的な財政運営に努めます。		

2. DO（実施結果）/CHECK（評価）/ACTION（今後の取組方針）

成果指標（KPI）の状況	戦略	基準値 R02	実績値 R03	実績値 R04	実績値 R05	実績値 R06	実績値 R07	実績値 R08	目標値 R08
予算編成説明会の開催（年間）【回】	-	1 対前年増減→	1 ±0	1 ±0					1
財政情報の公表（年間）【回】	-	3 対前年増減→	3 ±0	3 ±0					4
		対前年増減→							

【評価：A…推進できている、B…推進しているが課題がある、C…推進できていない】

実施内容・成果 (DO)	評価 (CHECK)	課題・今後の取組方針 (ACTION)
取組① 中長期財政計画の策定		総合戦略 -
【取組の概要（背景・目的等）】 将来にわたり持続可能な財政運営を行うため、現在の財政状況を踏まえ、景気の動向や地方財政制度等から将来の収入見込及び財政需要を中長期的に推計することにより総合計画における基本構想に掲げた基本理念及び将来像を具現化し、必要な政策を実現するための指針とするとともに基本計画に定めた施策の展開方向、施策展開及び進捗管理を行い、健全な財政運営を進めていきます。 【実施内容・成果（R04）】 中長期財政計画（以下、「計画」という。）に係る情報収集、事業の取りまとめ及び内部での共有にとどまり、計画の策定までには至っていません。	B	【課題】 中長期財政計画の策定にあたっては、照会、取りまとめ、計画作成から公表時期までの期間が長期にわたることから実際の予算の動向との乖離が大きくなっています。 【今後の取組方針】 様式の工夫、照会スケジュールの見直し等を行うことにより可能な限り短時間で作成できるよう取り組みます。
取組② 職員のコスト意識の向上		総合戦略 -
【取組の概要（背景・目的等）】 職員数減少への対応、行政運営の効率化及び住民サービスの向上等の観点から民間企業やNPO等への委託可能な事業については、積極的かつ計画的に推進し、また、行政の更なるデジタル化を推進することで、行政サービスの利便性向上、事務の効率化、行政コストの削減及び職員の業務負担軽減に努めていきます。また、生産性や効率性を高めることで、職員一人ひとりのワーク・ライフ・バランスが保たれるように努めていきます。 【実施内容・成果（R04）】 令和5年度予算編成方針の策定及び予算編成方針説明会において、説明・共有を実施しました。	A	【今後の取組方針】 今後も予算編成方針の策定・全庁への共有時には、民間事業者やNPO等への委託の推進、また、行政事務のデジタル化を進めるよう積極的に発信していきます。
取組③ 経営・財務マネジメントの強化		総合戦略 -
【取組の概要（背景・目的等）】 地方公会計は、現金主義会計による予算・決算制度を補完するものとして、発生主義・複式簿記といった企業会計の手法を活用することにより、現金主義会計では見えにくいコスト情報やストック情報を把握することを可能にするものであり、固定資産台帳及び財務書類（以下、「財務書類等」という。）のさらなる活用を図る観点等から財務書類等の作成・更新を行うことで「経営・財務マネジメント強化事業」への活用を推進していきます。 【実施内容・成果（R04）】 令和3年度決算における財務書類等を作成し、公表しました。 ・令和3年度財務書類（概要版）の公表 1回 ・令和3年度財務書類（財務四表）の公表 1回 ・令和3年度財政状況資料集の公表 1回	A	【今後の取組方針】 財務書類等の年次更新を行い、今後財務書類等の分析を行い、財務マネジメントの更なる強化に繋げていきたいと考えます。

【評価：A…推進できている、B…推進しているが課題がある、C…推進できていない】

実施内容・成果 (D0)		評価 (CHECK)	課題・今後の取組方針 (ACTION)	
取組④ ガバメントクラウドファンディング活用の推進			総合戦略	-
【取組の概要（背景・目的等）】 町で取り組む事業が多様化しており、多くの財源が必要となっていることから、町の自主財源を確保することが求められています。そのため、ガバメントクラウドファンディングを活用しながら、事業を進めることも一つの選択肢として考える必要があります。 【実施内容・成果（R04）】 ふるさと納税制度を活用した町PRについては、町内協力事業者を募り令和4年8月から、返礼品の取り扱いをスタートしています。町内の魅力的な返礼品を全国に知ってもらうことができるプラットフォームが出来上がりました。しかしながら、町の課題に対して、寄附を募るガバメントクラウドファンディングの整備については、未だできておらず、今後の課題となっています。		C	【課題】 ガバメントクラウドファンディングの制度を全庁的に知ってもらう必要があります。 【今後の取組方針】 庁内でガバメントクラウドファンディングの説明会を開催し、活用できる事業を提案できる環境づくりを行っていきます。	

上牧町第5次総合計画（後期基本計画）評価シート

行政・安全安心

令和4年度事業

1. PLAN（計画）

分野	1-1 行政運営	担当課
施策の展開方向	③ 計画的な財政運営	徴収課
●人口減少が進行する中、行政サービスを維持するため、自主財源の確保に努めます。 ●中長期を見すえた計画的な財政運営にあたるなど、各事業の規模や優先度に応じて予算配分を行い、財政の健全化及びその弾力性の確保に努めます。 ●行政コストを正確に把握し、削減に努めるとともに、マネジメントを強化し、財政の効率化・適正化を図ります。 ●事業の優先度や実施効果に配慮した予算編成にあたるなど、健全で計画的な財政運営に努めます。		

2. DO（実施結果）/CHECK（評価）/ACTION（今後の取組方針）

成果指標（KPI）の状況	戦略	基準値 R02	実績値 R03	実績値 R04	実績値 R05	実績値 R06	実績値 R07	実績値 R08	目標値 R08
町税徴収率【%】	-	91.0 対前年増減→	89.5 -1.5	89.3 -0.2					92.5
		対前年増減→							
		対前年増減→							

【評価：A…推進できている、B…推進しているが課題がある、C…推進できていない】

実施内容・成果 (DO)	評価 (CHECK)	課題・今後の取組方針 (ACTION)
取組① 町税等の徴収率の向上		総合戦略 -
【取組の概要（背景・目的等）】 町が行う事業やサービス実施のためには財源の確保が課題となることから、町税等の徴収率の向上に努める必要があります。 【実施内容・成果（R04）】 納税者の利便性の向上を目的としたスマホ収納について、既存の納付方法を拡充しました。 一方で税の公平性を保つため、滞納者に対して差押等の滞納処分を実施しました。取り分け換価が容易な給与や預金について重点的に行いました。また、令和4年度については従来の財産差押に加えて、余剰電力売却益、賃貸物件の敷金及び売掛金といったものに対する差押にも着手しました。 滞納者に対して滞納処分だけではなく、早期の納税相談や、適正な課税が行われていないかに対しては指導を行うなど、住民目線に立った行動も行いました。	B	【課題】 町内にある大型店舗の固定資産税の滞納により当町の徴収率は県平均を下回っています。今後はいかにしてこの滞納額を縮減させるかが当面の課題と考えます。 【今後の取組方針】 令和5年度以降については、口座振替の推奨等を行い、如何に滞納額を減らすか検討していく必要があります。それでも滞納となった場合は、早期の滞納解消すべく悪質な滞納者については積極的に滞納処分を行っていきます。 滞納処分についても、従来の方法に加えて、不動産の公売や自動車の差押、搜索等も実施していきたいと考えます。

上牧町第5次総合計画（後期基本計画）評価シート

行政・安全安心

令和4年度事業

1. PLAN（計画）

分野	1-1 行政運営	担当課
	④ 持続可能な行政運営に向けた理解促進と次世代育成	税務課
施策の展開方向	●社会を支える税の重要性について認識の伝播・浸透に資するとともに、正しい知識を広め、将来にわたる公共サービスの維持に必要な財源の確保につなげるため、町内小・中学生を中心に税に関する理解の促進に努めます。 ●子どもたちが町政に関心を持ち、理解を深めるとともに、上牧町の将来について考える機会を確保することで、上牧町の未来を支える担い手の育成につなげます。	

2. DO（実施結果）/CHECK（評価）/ACTION（今後の取組方針）

成果指標（KPI）の状況	戦略	基準値 R02	実績値 R03	実績値 R04	実績値 R05	実績値 R06	実績値 R07	実績値 R08	目標値 R08
租税教室の開催数（年間） 【回】	-	3 対前年増減→	3 ±0	2 -1					5
		対前年増減→							
		対前年増減→							

【評価：A…推進できている、B…推進しているが課題がある、C…推進できていない】

実施内容・成果 (DO)	評価 (CHECK)	課題・今後の取組方針 (ACTION)
取組① 租税教室の開催		総合戦略 -
【取組の概要（背景・目的等）】 租税教室や教材の配布等を行い、子どもたちの税に関する理解の促進に努め、上牧町の将来について考える機会を提供します。 【実施内容・成果（R04）】 令和4年度の租税教室の開催実績については、小学校2校という結果になりました。 租税教室の開催以外に、税に関する理解の促進を図るため、小学校4年生及び中学校1年生向けに、租税教育教材の配布を行いました。（教材については全国法人会総連合及び日本税理士会連合会から無償提供いただきました） 学校教育の一環として、租税に関する意識を正しく育むことが重要であり、税を扱う現場の職員が講義を行うことで、児童生徒が税について考えがきっかけになっていると考えます。	A	【今後の取組方針】 役場職員による租税教室の実施については、令和5年度は小学校1校が希望しており6月に実施予定ですが、教育現場のニーズに合ったものにする必要があると考えます。 学校向けにアンケートを行い、学校側の考え方や求めているもの、カリキュラムの問題等を把握したうえで、今後も税に関する理解の促進に努めます。 また、税務署職員による租税教室については、時期は未定ですが中学校1校で実施予定です。 なお、租税教育教材の配布については、例年のとおり小中学校全校に配布を予定しています。

上牧町第5次総合計画（後期基本計画）評価シート

行政・安全安心

令和4年度事業

1. PLAN（計画）

分野	1-1 行政運営	担当課
	④ 持続可能な行政運営に向けた理解促進と次世代育成	教育総務課
施策の展開方向	●社会を支える税の重要性について認識の伝播・浸透に資するとともに、正しい知識を広め、将来にわたる公共サービスの維持に必要な財源の確保につなげるため、町内小・中学生を中心に税に関する理解の促進に努めます。 ●子どもたちが町政に関心を持ち、理解を深めるとともに、上牧町の将来について考える機会を確保することで、上牧町の未来を支える担い手の育成につなげます。	

2. DO（実施結果）/CHECK（評価）/ACTION（今後の取組方針）

成果指標（KPI）の状況	戦略	基準値 R02	実績値 R03	実績値 R04	実績値 R05	実績値 R06	実績値 R07	実績値 R08	目標値 R08
小・中学校を対象とした子ども議会・一日町長体験開催数（累計）【回】	-	1	1	2					5
		対前年増減→	±0	+1					
		対前年増減→							
		対前年増減→							

【評価：A…推進できている、B…推進しているが課題がある、C…推進できていない】

実施内容・成果 (DO)	評価 (CHECK)	課題・今後の取組方針 (ACTION)
取組① 一日町長体験の実施／子ども議会の開催		総合戦略 -
【取組の概要（背景・目的等）】 子どもたちが町政に関心を持ち、理解を深めるとともに、上牧町の将来について考える機会を確保することで、上牧町の未来を支える担い手の育成につなげていきます。 【実施内容・成果（R04）】 次代を担う子どもたちが、上牧町の将来について考え、意見を発表し質問する機会として「子ども議会」を隔年で開催しています。 令和4年度の「子ども議会」は「上牧町制施行50周年を迎えるに当たり上牧町の将来について」をテーマに、上牧中学校・上牧第二中学校の2・3年生12名から、町政に対する質問や提案が行われましたが、「子ども議会」で行われた質問が、その後の町議会（一般質問）で取り上げられるなど、子どもたちにとって、自分たちの意見が実際にまちづくりに反映されることを実感できる機会となり、まちづくりへの参画意欲の向上につながったのではないかと考えます。	B	【課題】 子ども議会については引き続き、隔年（次回令和6年度開催）で取組を継続していきますが、準備期間が短く、子どもたちや学校現場に負担がかかっているため、事業着手時期等の見直しを行います。また、議会の仕組みを学ぶ機会の拡充として、政策研究や現場視察、委員会等の模擬体験の実施や社会（公民）・総合的な学習に取り入れていくことについても今後検討します。その他、子ども議員からの質問に対するその後の対応や隔年で実施している一日町長体験についても、各校1名の参加であるため、参加できなかった児童に対する展開など、フォローアップの方法について研究を行います。 【今後の取組方針】 令和5年度は、子どもたちの町政に対する関心と理解を深めるため、一日町長体験の実施を予定していますが、実施に当たっては、令和4年度の子どもの議会の開催において浮き彫りとなった共通課題の解決を図るため、学校との綿密な調整を行います。

上牧町第5次総合計画（後期基本計画）評価シート

行政・安全安心

令和4年度事業

1. PLAN（計画）

分野	1-2 広域連携の推進	担当課
	① 広域連携の推進	企画財政課
施策の展開方向	●町民の日常生活圏の広域化などに対応するため、近隣自治体と連携し、行政ネットワークの連携強化を図ります。 ●多様な分野、形で連携を図り、行政課題解決の実績を重ねることで、町単独では実現し得ないまちづくり、住民サービスの提供に努めます。	

2. DO（実施結果）/CHECK（評価）/ACTION（今後の取組方針）

成果指標（KPI）の状況	戦略	基準値 R02	実績値 R03	実績値 R04	実績値 R05	実績値 R06	実績値 R07	実績値 R08	目標値 R08
広域連携新規事業数（累計） 【事業】	-	-	-	1					5
		対前年増減→	±0	+1					
		対前年増減→							
		対前年増減→							

【評価：A…推進できている、B…推進しているが課題がある、C…推進できていない】

実施内容・成果 (D0)	評価 (CHECK)	課題・今後の取組方針 (ACTION)
取組① 広域連携による公共サービスの提供／広域連携による行政課題の解決		総合戦略 -
【取組の概要（背景・目的等）】 北葛城郡4町が連携して実施する「すむ・奈良・ほっかつ！事業」の中で、地域の魅力向上につながる広域連携事業の検討を行っていきます。 【実施内容・成果（R04）】 広域観光の取組として、史跡・古墳をめぐる「御墳印帖プロジェクト」の開始に向けた検討・準備を行いました。「御墳印帖プロジェクト」は、令和3年度から河合町でスタートした事業で、古墳等の歴史遺産を訪れながら、その歴史遺産に関する「御墳印」を集めてもらう取組となっています。本取組を北葛城郡4町で広域展開していくことで、4町の魅力を効率的に発信することができ、地域活性や交流人口・関係人口の増加につながっていくと考えます。（4町連携の「御墳印帖プロジェクト」は、令和5年4月からスタート）	A	【今後の取組方針】 今後も引き続き、「すむ・奈良・ほっかつ！事業」において、「御墳印帖プロジェクト」を進める一方で、施設等の利便性の向上や行政運営の効率化を図るために、様々な分野において、広域連携の実現可能性について検討を行っていきます。

上牧町第5次総合計画（後期基本計画）評価シート

行政・安全安心

令和4年度事業

1. PLAN（計画）

分野	1-3 町民参画・協働・地域コミュニティ	担当課
	① 地域活動への参加機会の創出	秘書人事課
施策の展開方向	●自治会活動への支援を通じて、地域活動への参加意欲の高い町民や能力・経験を有する町民の地域活動への参加機会を創出するよう努めます。	

2. DO（実施結果）/CHECK（評価）/ACTION（今後の取組方針）

成果指標（KPI）の状況	戦略	基準値 R02	実績値 R03	実績値 R04	実績値 R05	実績値 R06	実績値 R07	実績値 R08	目標値 R08
地域活動への参加している割合【%】	-	34.2 対前年増減→	-	-					45.0
		対前年増減→							
		対前年増減→							

【評価：A…推進できている、B…推進しているが課題がある、C…推進できていない】

実施内容・成果 (DO)		評価 (CHECK)	課題・今後の取組方針 (ACTION)
取組①	自治会活動支援		総合戦略 -
【取組の概要（背景・目的等）】 町民の意見を行政に反映する場や機会が充実し、町民と行政の協力・信頼関係から生まれた協働の考えのもと、それぞれの役割や責任に応じた行動により、様々なテーマで活動する町民活動団体がまちづくりの担い手として活躍できるまちを目指します。 【実施内容・成果（R04）】 町民の地域活動支援として、上牧町自治連合会に補助金70万円、各自治会に振興費助成金（人口×30円+10万円）を交付しました。 また、町民参画による協働のまちづくりを推進していくため、自治会設立支援を行いました。（新興住宅地1地区） 認可地縁団体設立を支援するため、認可地縁団体設立マニュアルを作成しました。		A	【今後の取組方針】 町民参画による協働のまちづくりを推進していくため、町民のニーズに沿って今後も地域活動の支援として上牧町自治連合会や各自治会への補助や助成、自治会設立支援等を継続します。 なり手不足が全国的な課題となっている中で、地域活動を継続的に維持できるよう、社会情勢に適した新たなニーズの把握や次世代の担い手の掘り起こし等、必要な方策について検討します。

上牧町第5次総合計画（後期基本計画）評価シート

行政・安全安心

令和4年度事業

1. PLAN（計画）

分野	1-3 町民参画・協働・地域コミュニティ	担当課
施策の展開方向	② 町民のまちづくり参加機会の拡充 ●各行政施策における町民参加機会のさらなる拡充を図り、諮問機関の提言や意見を尊重して施策を進めます。 ●町民が参加できる活動のPRや情報発信などを行うことで、参加意欲の高い町民の活動フィールドを確保するとともに、地域活動団体の活動支援や地域力の向上に努めます。 ●オンラインを活用した町民参画機会を創出することで、新型コロナウイルスなどの感染症リスクを避けるとともに、子育て期間中や移動に時間を要するなど、現地に来ることが難しい方でも参加しやすい環境を整えます。	企画財政課

2. DO（実施結果）/CHECK（評価）/ACTION（今後の取組方針）

成果指標（KPI）の状況	戦略	基準値 R02	実績値 R03	実績値 R04	実績値 R05	実績値 R06	実績値 R07	実績値 R08	目標値 R08
新規地域活動団体年間設立数（累計）【団体】	○	- 対前年増減→	1 +1	2 +1					20
		対前年増減→							
		対前年増減→							

【評価：A…推進できている、B…推進しているが課題がある、C…推進できていない】

実施内容・成果 (DO)	評価 (CHECK)	課題・今後の取組方針 (ACTION)
取組① 町民のまちづくりへの参画機会の創出／意欲的な町民の地域活動への招待 【取組の概要（背景・目的等）】 意欲的な町民のまちづくりへの参加機会を確保していくために、各種審議会等への公募住民の任用やパブリックコメント、アンケート等を実施していくとともに、実施方法等の改善についての検討を行っていきます。 【実施内容・成果（R04）】 パブリックコメントの運用に関して、各課に対して周知・啓発を行うとともに、ホームページにおいて、パブリックコメントの実施状況（実施予定・募集中案件・実施結果）を確認できるようにページの再構築を行いました。パブリックコメントの実施状況を確認しやすくなったことで、意欲的な町民に対する参画機会の確保につながったと考えます。 《パブリックコメント実施予定（R04）》 0件	B	【課題】 パブリックコメントについては、各案件に対して全体的に意見等の件数が少ない傾向にあるため、よりわかりやすい運用になるよう、他市町村の実施方法等についても調査を行いながら、改善を図っていく必要があると考えます。 【今後の取組方針】 今後も引き続き、各種審議会等への公募住民の任用やパブリックコメント、アンケート等を実施していきます。 また、パブリックコメントについては、運用の改善を図るための調査・研究を進めていきます。
取組② 地域活動団体の設立及び活動支援 【取組の概要（背景・目的等）】 協働のまちづくりを推進するために、地域活動団体の公益的な取組に対して補助金を交付する「上牧町協働のまちづくり公募型補助金」（以下「公募型補助金」という。）の枠組みを活用し、地域活動団体の設立及び活動支援を行うことで、地域力の向上を図っていきます。 【実施内容・成果（R04）】 既存の地域活動団体（2団体）に対して公募型補助金の交付を行いました。 また、令和3年度に公募型補助金を交付した団体「かんまき未来会議マリッジサポーター」は令和4年度から新規にNPO法人「上牧マリッジサポート・赤い糸」を設立し、活動を展開しています。	B	【課題】 公募型補助金については、申請件数が少ないという現状を踏まえ、補助金をより活用してもらいやすくなるように補助金制度の見直しについても検討していく必要があると考えます。 【今後の取組方針】 今後も引き続き、公募型補助金の枠組みを活用し、地域活動団体の設立及び活動支援を行っていきます。 また、公募型補助金については、他市町村の事例について調査・研究を行いながら、制度の見直しについて検討を進めていきます。

上牧町第5次総合計画（後期基本計画）評価シート

行政・安全安心

令和4年度事業

1. PLAN（計画）

分野	1-3 町民参画・協働・地域コミュニティ	担当課
	③ 上牧町まちづくり人材バンクの拡充	企画財政課
施策の展開方向	●技術や能力を有している上牧町在住・在勤者を掘り起こし、上牧町まちづくり人材バンクの拡充に努めます。 ●上牧町まちづくり人材バンク登録者の町事業への参画・活動機会の創出に努めます。	

2. DO（実施結果）/CHECK（評価）/ACTION（今後の取組方針）

成果指標（KPI）の状況	戦略	基準値 R02	実績値 R03	実績値 R04	実績値 R05	実績値 R06	実績値 R07	実績値 R08	目標値 R08
上牧町まちづくり人材バンクの登録者数【人】	○	30 対前年増減→	30 ±0	40 +10					45
上牧町まちづくり人材バンク登録者の活用人数（年間）【人】	○	7 対前年増減→	6 -1	4 -2					20
		対前年増減→							

【評価：A…推進できている、B…推進しているが課題がある、C…推進できていない】

実施内容・成果 (D0)	評価 (CHECK)	課題・今後の取組方針 (ACTION)
取組① 町内の優れた技術・能力を有する人材の発掘及び活用の促進		総合戦略 基本目標.3
【取組の概要（背景・目的等）】 優れた技術・能力を有する人材の発掘を目的として実施している人材登録制度「上牧町まちづくり人材バンク」の取組を通じて、町民のまちづくりの参画機会の創出につなげていきます。 【実施内容・成果（R04）】 広報による情報発信や町事業への参加をきっかけとして、新たに10人（行政経営分野：1人、教育分野：1人、まちづくり分野：1人、法律分野：1人、その他：7名）の登録がありました。（1人で複数分野の登録有）庁内開催の各種審議会での委員就任や、まきっ子塾学習アドバイザーとして活用されました。	B	【課題】 「上牧町まちづくり人材バンク」については、庁内での各種審議会等の委員就任の呼びかけ等の利用のみにとどまっているため、町民の生涯学習活動等に利用できるような制度の調査・研究が必要と考えます。 【今後の取組方針】 今後も引き続き、町民の参画機会創出につなげるため募集を行います。募集案内については、広報だけでなくSNS等も積極的に使用し、登録者数・活用人数ともに増やせるように進めていきます。 また、将来的に町民の方の生涯学習活動等に利用してもらえるように、制度を整備していきたいと考えています。

上牧町第5次総合計画（後期基本計画）評価シート

行政・安全安心

令和4年度事業

1. PLAN（計画）

分野	1-3 町民参画・協働・地域コミュニティ	担当課
	④ 地域主体の協働のまちづくり	企画財政課
施策の展開方向	●町民の自主的な文化・コミュニティ活動などを支援し、人材・情報の提供に努めます。 ●町民主体のまちづくりの推進に向け、ボランティア団体等の自主的運営体制の確立とコミュニティリーダーの育成に努めます。 ●上牧町まちづくり基本条例の推進に取り組みます。 ●町民や団体・事業者が連携してまちづくりに取り組むことができるよう、環境整備を行います。	

2. DO（実施結果）/CHECK（評価）/ACTION（今後の取組方針）

成果指標（KPI）の状況	戦略	基準値 R02	実績値 R03	実績値 R04	実績値 R05	実績値 R06	実績値 R07	実績値 R08	目標値 R08
まちづくり協議会設置数【団体】	-	- 対前年増減→	- ±0	- ±0					1
		対前年増減→							
		対前年増減→							

【評価：A…推進できている、B…推進しているが課題がある、C…推進できていない】

実施内容・成果 (DO)	評価 (CHECK)	課題・今後の取組方針 (ACTION)
取組① まちづくり協議会設立に向けたプラットフォーム構築支援/地域団体の自立支援		総合戦略 -
【取組の概要（背景・目的等）】 様々な地域課題や地域のニーズに対し、的確に対応していくため、地域コミュニティの充実及び地域主体による課題解決のしくみを築いていくことが求められています。 【実施内容・成果（R04）】 まちづくり協議会を立ち上げられている他自治体の情報収集に留まり、自治会長向けの説明会を開催できるだけの内容が集まっておらず、まちづくり協議会の設置に向けた機運を高めることはできませんでした。	C	【課題】 まちづくり協議会を設立することで、協働参画によるまちづくりがさらに推進され、地域課題の解決にも寄与するものであると考える一方で、設立については、あくまで主体となる町民の意思が尊重されるものであり、まちづくり協議会の必要性の説明や各地区での準備会の設立に関する提案等、機運を醸成するための取組が必要であると考えます。 【今後の取組方針】 設立に向けての支援のあり方等について、地域のニーズに対してどのように対応していくのか内部で方針を検討する必要があります。

上牧町第5次総合計画（後期基本計画）評価シート

行政・安全安心

令和4年度事業

1. PLAN（計画）

分野	1-3 町民参画・協働・地域コミュニティ	担当課
	⑤ 公募型補助金の活用促進	企画財政課
施策の展開方向	●補助金を活用し、町の活性化に資する公益的活動を行う団体の育成を図り、町民と行政との協働のまちづくりのさらなる推進に取り組めます。	

2. D0（実施結果）/CHECK（評価）/ACTION（今後の取組方針）

成果指標（KPI）の状況	戦略	基準値 R02	実績値 R03	実績値 R04	実績値 R05	実績値 R06	実績値 R07	実績値 R08	目標値 R08
上牧町協働のまちづくり公募型補助金申請団体数（年間）【件】	○	3 対前年増減→	5 +2	2 -3					7
		対前年増減→							
		対前年増減→							

【評価：A…推進できている、B…推進しているが課題がある、C…推進できていない】

実施内容・成果 (D0)	評価 (CHECK)	課題・今後の取組方針 (ACTION)
取組① 上牧町協働のまちづくり公募型補助金事業の活用促進 【取組の概要（背景・目的等）】 町の活性化や地域団体の育成を図り、その継続的な活動を通して町民と行政との協働のまちづくりの推進を目的に、町民により組織される団体が行う公益的活動に対して、団体からの申請に応じて、補助金の交付を行います。 【実施内容・成果（R04）】 4月募集で2団体からの申請があり、内1件は令和4年度の要綱の改正に基づく事前申請制度によるものでした。また、8月に追加募集を行いました。申請がありませんでした。 申請団体数については、令和3年度から減少しましたが、事前申請制度を設けたことで、早期の事業開始が活用促進に繋がったことから一定の成果は得られたと考えます。 ＜申請事業（R04）＞ ●自由提案事業補助金 ①コロナ禍の災害対策ワークショップ（団体名：かんまき自主防災ネットワーク）【補助金交付額97,331円】 ②コキア大作戦（団体名：片岡城址盛り上げ隊）【補助金交付額118,867円】	B	【課題】 相談や問い合わせがあるものの本申請に至らないケースが多いことから、認知度は高まってきている一方で、多様化するニーズに対応できていない部分があると考えます。 【今後の取組方針】 今後は、上牧町ボランティア連絡協議会を支援している上牧町社会福祉協議会にヒアリングを行うなど、ニーズの把握に努めるとともに、他市町村の事例を参考に、募集の枠組みの再構築を視野にいたした調査・研究を進めていきます。

上牧町第5次総合計画（後期基本計画）評価シート

行政・安全安心

令和4年度事業

1. PLAN（計画）

分野	1-3 町民参画・協働・地域コミュニティ	担当課
	⑥ 地域コミュニティの強化	社会教育課
施策の展開方向	● 地域、校区、学校での個々のコミュニティ網の形成に取り組みます。	

2. D0（実施結果）/CHECK（評価）/ACTION（今後の取組方針）

成果指標（KPI）の状況	戦略	基準値 R02	実績値 R03	実績値 R04	実績値 R05	実績値 R06	実績値 R07	実績値 R08	目標値 R08
コミュニティ・スクール制度導入に向けた検討会議の開催数（年間）【回】	○	4 対前年増減→	1 -3	1 ±0					5
学校支援ボランティア登録者数（年間）【人】	○	238 対前年増減→	217 -21	254 +37					250

【評価：A…推進できている、B…推進しているが課題がある、C…推進できていない】

実施内容・成果 (D0)	評価 (CHECK)	課題・今後の取組方針 (ACTION)
取組① 学校を中心とした地域コミュニティ網の形成		総合戦略 基本目標.1
【取組の概要（背景・目的等）】 地域とともにあるより良い学校づくりを推進するため、学校運営協議会制度（コミュニティ・スクール）導入に向けた検討会議を年3回程度実施するとともに、県教育委員会事務局に協力を得ながら、規則や実施要領の制定を目指していきます。 【実施内容・成果（R04）】 令和4年度は研修会受講の1回のみとなりましたが、教育総務課とともに受講しました。研修の内容としては、生駒市の導入事例と学校運営協議会制度（コミュニティ・スクール）導入と地域学校協働活動（学校・地域パートナーシップ事業）の一体的推進のあり方についてでした。この研修によって、当該事業に係る理解を深めることができました。	B	【課題】 中学校の統合に向け、コミュニティ・スクールの効率的な導入体制を構築する必要があります。 【今後の取組方針】 コミュニティ・スクールの導入に向け社会教育課と教育総務課が共通認識のもと一体となって連携を深めていきます。
取組② 学校支援事業の運営		総合戦略 基本目標.1
【取組の概要（背景・目的等）】 学校・幼稚園と連携を図り子どもたちの教育について主体となる学校教育に加え、地域全体で支援する体制づくりを進めるために学校支援のボランティア活動を行う「学校・地域パートナーシップ事業」を推進していきます。 【実施内容・成果（R04）】 主な活動として図書支援・環境支援等を行い、小学校では登下校見守り支援も実施しました。まだまだ新型コロナウイルス感染症の影響を受けて中止や縮小になった支援活動（授業支援・放課後支援）もありますが、コロナ禍前の活動量に戻りつつあり、教職員の負担軽減に繋がり学校教育の充実を図ることができました。 また、自治会にボランティアの登録を呼びかけ、人材確保にも努めました。	A	【今後の取組方針】 今後も引き続き、地域の教育力の向上と地域ぐるみで学校教育の充実と活性化を図ることを目的に、学校支援ボランティアによる支援活動を継続していきます。 また、ボランティアの人材確保にも努めます。

上牧町第5次総合計画（後期基本計画）評価シート

行政・安全安心

令和4年度事業

1. PLAN（計画）

分野	1-3 町民参画・協働・地域コミュニティ	担当課
	⑦ ふるさと意識の高揚	企画財政課
施策の展開方向	●ふるさとに対する愛着や誇りの醸成・再認識を目的に、町出身者が上牧町に関わる機会の提供に努めます。	

2. DO（実施結果）/CHECK（評価）/ACTION（今後の取組方針）

成果指標（KPI）の状況	戦略	基準値 R02	実績値 R03	実績値 R04	実績値 R05	実績値 R06	実績値 R07	実績値 R08	目標値 R08
「上牧町に住み続けたい」という人の割合【%】	-	77.6 対前年増減→	-	-					80.0
		対前年増減→							
		対前年増減→							

【評価：A…推進できている、B…推進しているが課題がある、C…推進できていない】

実施内容・成果 (DO)	評価 (CHECK)	課題・今後の取組方針 (ACTION)
取組① イベント等におけるふるさと回帰・移住促進PR活動の実施		総合戦略 基本目標.2
【取組の概要（背景・目的等）】 上牧町への関心を高める取組や認知度を向上させる取組を通じて、ふるさと意識の高揚や関係人口・交流人口の創出につなげていきます。	A	【今後の取組方針】 今後も引き続き、「ペガサスフェスタ」や「すむ・奈良・ほっかつ！事業」の取組を推進していきます。 また、町制施行50周年記念事業として実施した新たな取組についても、継続的に実施していくとともに、制作物の活用促進を図っていくことで、ふるさと意識の高揚や関係人口・交流人口の創出、認知度の向上につなげていきます。
【実施内容・成果（R04）】 地域イベントとして「ペガサスフェスタ」を開催しました。町制施行50周年記念企画（菊人形展、二胡の演奏等）を交えて実施したこともあり、来場者数は約5,000人（前回比+1,500人）という結果になりました。 また、北葛城郡4町が連携して実施する「すむ・奈良・ほっかつ！事業」において、移住定住を目的としたプロモーション活動（HPを活用した情報発信）を実施するとともに、北葛城郡に訪れてもらうための新たな取組として、古墳や文化財を活用した「御墳印帖プロジェクト」について、開始に向けた検討を行いました。（令和5年4月開始） その他、町制施行50周年記念事業として、新たに「さくら祭り」や「メタセコイアのライトアップ」、「片岡城復刻ARの制作」、「PRキャラクターの制作」を実施しました。上牧町を「知ってもらう・訪れてもらう」ための取組を推進したことで、上牧町への関心を高めるきっかけづくりができたと考えます。		
取組② ふるさと納税制度の活用		総合戦略 -
【取組の概要（背景・目的等）】 ふるさと納税制度を活用し、上牧町における特産品の発信・発掘を行うことで、上牧町出身者等の町外のかたに対し、上牧町に関わる機会を提供していきます。	A	【今後の取組方針】 今後も引き続き、上牧町に関わる機会の一つとして、ふるさと納税制度の活用を推進していきます。 ふるさと納税の返礼品については、登録品目を増やしていくために、広報紙やHP等を活用した情報発信を行っていきます。 また、返礼品を掲載する「ふるさと納税サイト」についても、返礼品が目に触れる機会を増やすために、複数のサイトへの掲載についても検討を進めていきます。
【実施内容・成果（R04）】 ふるさと納税の返礼品の取扱いを新たに開始したことに加え、特産品の開発・改良に対する補助金制度（特産品開発支援補助金）を創設しました。 返礼品については、協力事業者として、14事業者の登録があり、返礼品として60品目の登録がありました。令和4年度の寄附額は6,677,000円（前年度比+5,245,000円）という結果となり、返礼品の取扱いを開始したことで、大幅に寄附額が増えています。 特産品開発支援補助金については、2件の申請があり、ふるさと納税の返礼品となる商品の開発・改良が行われました。 （改良：1件（いちごパッケージ）、開発：1件（アウトドアブランケット））		

上牧町第5次総合計画（後期基本計画）評価シート

行政・安全安心

令和4年度事業

1. PLAN（計画）

分野	1-4 情報の発信と共有	担当課
	① 情報発信及び情報共有の充実	秘書人事課
施策の展開方向	● 広報紙やホームページなどを使った広報活動に努めます。 ● SNSを積極的に活用し、町民に直接届ける「プッシュ型」の情報発信・情報共有を推進します。 ● 町民へまちづくりの情報を提供するため、行政情報公開を推進します。 ● 町民と行政が情報共有を図れるよう環境の整備に努めます。	

2. DO（実施結果）/CHECK（評価）/ACTION（今後の取組方針）

成果指標（KPI）の状況	戦略	基準値 R02	実績値 R03	実績値 R04	実績値 R05	実績値 R06	実績値 R07	実績値 R08	目標値 R08
SNSの延べフォロワー数【人】	○	2,500 対前年増減→	4,271 +1,771	5,345 +1,074					5,500
ホームページへのアクセス数（年間）【件】	○	287,870 対前年増減→	461,429 +173,559	274,794 -186,635					500,000
		対前年増減→							

【評価：A…推進できている、B…推進しているが課題がある、C…推進できていない】

実施内容・成果 (DO)	評価 (CHECK)	課題・今後の取組方針 (ACTION)
取組① 既存情報発信媒体の発信力の向上		総合戦略 -
【取組の概要（背景・目的等）】 町民生活に役立つ情報が様々な情報媒体から発信・共有されてすべての町民に届けられ、上牧町全体がつながり情報が届けられるまちを目指します。 【実施内容・成果（R04）】 令和4年4月1日にホームページをアクセシビリティ、ユーザビリティの課題を解消し、増加するスマートフォンユーザーに対応した視認性の高い、より効果的な情報発信が可能なものにリニューアルしました。 また、町公式LINEと連携した、①イベントや施設の情報検索、②ごみの分別方法や収集日程の確認、③引っ越しや妊娠・出産、お悔やみの手続きのナビ機能、④好みの情報のみのお知らせを受信できる設定等を実装しました。そのほか、令和4年度から、情報を迅速に掲載すること等を目的に、ホームページへの掲載等の業務を担当課で行うとともに、職員に対して操作研修を実施しました。 新聞やテレビ等のメディアを通じた情報発信をすることで、多くの人の上牧町のことを知ってもらい、町民の皆さんには自分の町への関心を高める機会を創出することができました。	B	【課題】 リニューアル後のホームページ内の情報が整理できていない箇所があります。 職員がホームページを更新することになりましたが、操作が分かりづらいという意見があります。 【今後の取組方針】 広報紙の質の向上を目指し、広報に関する研修会に積極的に参加します。 令和4年4月1日にリニューアルを行ったホームページについては、リニューアル後もシステム面の改修や内容の充実、使いやすさの向上を目指し日々更新を続けていきます。 ホームページの操作研修については、職員の異動等や緊急時等という場合にも、なるべく多くの職員が操作できるよう継続して実施します。
取組② タウンミーティングの継続的な実施		総合戦略 -
【取組の概要（背景・目的等）】 町民からの声を積極的に聴く機会を作ります。 【実施内容・成果（R04）】 新型コロナウイルス感染拡大の影響により実施できませんでした。	B	【今後の取組方針】 令和5年度からタウンミーティングを再開し、町民の皆さんの声を直接聞く機会を設けます。

【評価：A…推進できている、B…推進しているが課題がある、C…推進できていない】

実施内容・成果 (DO)		評価 (CHECK)	課題・今後の取組方針 (ACTION)	
取組③ SNSを活用した情報発信と企画の実施			総合戦略	基本目標.2
【取組の概要（背景・目的等）】 SNSの活用により迅速に情報を発信することが可能です。また、町民だけでなく町外にも町の魅力や情報発信を行うことで、町の認知度を高めることにつながります。 【実施内容・成果（R04）】 これまで主に町内に向けた情報発信ツールとして運用してきた、LINE、Facebook、Youtubeに加え、令和4年10月1日から、町内の若年層や上牧町内外の方に町の魅力や情報発信を行うため、新たにInstagramの運用を開始し、週2回を目標に投稿し、写真を活用した住民参加型の企画や若年層にも自治体情報を届けられるような仕組みを作りました。 町制施行50周年を迎え、広報紙やSNS、メディア等を通じて様々な情報発信を行い、町を身近に感じていただくことができました。		B	【課題】 Facebookについては、特徴を活かした運用ができていないため、運用方法について他の自治体の取組等を参考にしながら、検討します。 【今後の取組方針】 現在進行中の住民参加型企画のさらなるPRや新たな企画等で新規の住民参加を進めていきます。 Instagramについては、引き続き週2回を目標に投稿し、町の魅力や情報を発信します。	

上牧町第5次総合計画（後期基本計画）評価シート

行政・安全安心

令和4年度事業

1. PLAN（計画）

分野	1-4 情報の発信と共有	担当課
	② シティプロモーション活動の推進	企画財政課
施策の展開方向	●コンパクトで生活利便性に優れ、事前に囲まれた上牧町の特徴をPRすることにより、住みよいまちであることを地域内外にPRします。	

2. DO（実施結果）/CHECK（評価）/ACTION（今後の取組方針）

成果指標（KPI）の状況	戦略	基準値 R02	実績値 R03	実績値 R04	実績値 R05	実績値 R06	実績値 R07	実績値 R08	目標値 R08
プロモーション活動・媒体の認知度【%】	○	50.6 対前年増減→	38.2 -12.4	40.4 +2.2					60.0
ホームページへのアクセス数（年間）【件】	○	287,870 対前年増減→	461,429 +173,559	274,794 -186,635					500,000
		対前年増減→							

【評価：A…推進できている、B…推進しているが課題がある、C…推進できていない】

実施内容・成果 (D0)	評価 (CHECK)	課題・今後の取組方針 (ACTION)
取組① イベント等におけるふるさと回帰・移住促進PR活動の実施 【取組の概要（背景・目的等）】 上牧町への関心が高める取組や認知度を向上させる取組を通じて、ふるさと意識の高揚や関係人口・交流人口の創出につなげていきます。 【実施内容・成果（R04）】 地域イベントとして「ペガサスフェスタ」を開催しました。町制施行50周年記念企画（菊人形展、二胡の演奏等）を交えて実施したこともあり、来場者数は約5,000人（前回比+1,500人）という結果になりました。 また、北葛城郡4町が連携して実施する「すむ・奈良・ほっかつ！事業」において、移住定住を目的としたプロモーション活動（HPを活用した情報発信）を実施するとともに、北葛城郡に訪れてもたらうための新たな取組として、古墳や文化財を活用した「御墳印帖プロジェクト」について、開始に向けた検討を行いました。（令和5年4月開始） その他、町制施行50周年記念事業として、新たに「さくら祭り」や「メタセコイアのライトアップ」、「片岡城復刻ARの制作」、「PRキャラクターの制作」を実施しました。上牧町を「知ってもらおう・訪れてもらう」ための取組を推進したことで、上牧町への関心が高めるきっかけづくりができたと考えます。	A	【今後の取組方針】 今後も引き続き、「ペガサスフェスタ」や「すむ・奈良・ほっかつ！事業」の取組を推進していきます。 また、町制施行50周年記念事業として実施した新たな取組についても、継続的に実施していくとともに、制作物の活用促進を図っていくことで、ふるさと意識の高揚や関係人口・交流人口の創出、認知度の向上につなげていきます。
取組② 大学や企業との連携によるブランディングの推進 【取組の概要（背景・目的等）】 コンパクトで生活利便性に優れ、自然に囲まれた上牧町の特徴をPRし、より一層ブランディングを推進していきます。 【実施内容・成果（R04）】 ふるさと納税の返礼品の取扱いを新たに開始したことに加え、特産品の開発・改良に対する補助金制度（特産品開発支援補助金）を創設しました。返礼品については、協力事業者として、14事業者の登録があり、返礼品として60品目の登録がありました。 特産品開発支援補助金については、2件の申請があり、ふるさと納税の返礼品となる商品の開発・改良が行われました。 事業者紹介サイトについては、1件の新規登録があり、合計29事業者になりました。 その他、ふるさと納税広告に上牧町の返礼品が掲載されたことにより、上牧町の事業者を通じた上牧町のブランディングが推進できていると考えます。また、企業版ふるさと納税に関しては奈良県と共同で運営する協議会で作成したパンフレットを用いて、上牧町の企業版ふるさと納税についてアピールを行いました。	A	【今後の取組方針】 今後も引き続き、ふるさと納税を通じた上牧町のPR・ブランディングを進めていきます。 また、事業者紹介サイトの運営も引き続き行い、掲載事業者を増やす取組を検討し、進めていきたいと考えています。 その他、企業版ふるさと納税を通じて企業との連携を図るよう制度を整備していきます。

上牧町第5次総合計画（後期基本計画）評価シート

行政・安全安心

令和4年度事業

1. PLAN（計画）

分野	1-5 情報基盤	担当課
	① 情報セキュリティの強化	総務課
施策の展開方向	●研修や内部監査の実施により、問題点を早期に発見し、正しい理解のもと、対策を確実にすることで、情報セキュリティの強化に努めます。	

2. DO（実施結果）/CHECK（評価）/ACTION（今後の取組方針）

成果指標（KPI）の状況	戦略	基準値 R02	実績値 R03	実績値 R04	実績値 R05	実績値 R06	実績値 R07	実績値 R08	目標値 R08
情報セキュリティに対する遵守意識度	-	93.7 対前年増減→	96.4 +2.7	96.5 +0.1					100
		対前年増減→							
		対前年増減→							

【評価：A…推進できている、B…推進しているが課題がある、C…推進できていない】

実施内容・成果 (D0)		評価 (CHECK)	課題・今後の取組方針 (ACTION)
取組①	情報セキュリティの強化		総合戦略 -
【取組の概要（背景・目的等）】 町が保有する情報の漏えい等の重大な過失を防ぐため、情報セキュリティの強化を図ります。 【実施内容・成果（R04）】 情報セキュリティ全体研修を令和5年2月15日に全職員を対象に行いました。また、LGWAN系の無線化や総務省ガイドラインの更新に合わせた情報セキュリティポリシーの改定・実施手順書の見直しも行いました。		B	【課題】 令和4年度に見直しを行った、情報セキュリティポリシー等について、情報セキュリティ委員会に図り、承認を得た上で施行し、職員に周知する必要があります。 【今後の取組方針】 上記情報セキュリティポリシー等を、情報セキュリティ委員会に図り、承認を得た後に施行し、令和5年度に実施する情報セキュリティ研修等での周知及び徹底を行います。

上牧町第5次総合計画（後期基本計画）評価シート

行政・安全安心

令和4年度事業

1. PLAN（計画）

分野	1-5 情報基盤	担当課
施策の展開方向	② 行政手続き等のオンライン化の推進	総務課
	●ICTを活用した行政手続きの簡素化・効率化を図り、スマート自治体の実現に向けて電子申請サービスの運用やオンライン環境の整備を推進します。	

2. DO（実施結果）/CHECK（評価）/ACTION（今後の取組方針）

成果指標（KPI）の状況	戦略	基準値 R02	実績値 R03	実績値 R04	実績値 R05	実績値 R06	実績値 R07	実績値 R08	目標値 R08
行政手続きのオンライン化率【%】	-	-	-	3.0					33.0
		対前年増減→	±0	+3.0					
		対前年増減→							
		対前年増減→							

【評価：A…推進できている、B…推進しているが課題がある、C…推進できていない】

実施内容・成果 (D0)	評価 (CHECK)	課題・今後の取組方針 (ACTION)
取組① 押印省略に向けた例規整備 【取組の概要（背景・目的等）】 デジタル時代に向けた規制・制度の見直しの一環として、行政手続きにおける押印の見直しを行います。 【実施内容・成果（R04）】 様式における押印省略のみの改正は実施していませんが、他の部分の改正等がある例規については、併せて様式等の押印の有無を確認し、省略できるものについては、随時改正を行っています。 また、新規制定例規については、押印の省略ができるものについては、事業担当課と相談の上、決定しています。	B	【課題】 制定、改正等のタイミングで随時行っているものの、今後の行政手続等のオンライン化を見据えた対応を検討する必要性が生じています。 【今後の取組方針】 上記の課題に対応した町の基本方針を定め、各課に周知していきます。
取組② 電子申請システムやオンライン環境の拡充 【取組の概要（背景・目的等）】 電子申請システムやオンライン環境の拡充を行うことで、町民の利便性の向上を図ります。 【実施内容・成果（R04）】 子育て関係15手続きと介護関係11手続きのマイナポータルを通じたオンライン申請システムの環境構築を行いました。 また、転出届についても、マイナンバーカードによりオンラインで提出できるようになりました。	B	【課題】 事務の煩雑さや住民のニーズに対する費用対効果を考慮した場合に、実施に向けた大きな投資を行うことが難しい状況にあります。 【今後の取組方針】 順次、マイナンバーカードを利用したオンライン申請管理業務の拡充を行います。 また、罹災証明書については、マイナポータルを利用して発行申請をすることができるようになります。 その他の手続きについても、各課からの要望等を確認し、利用可能な手続きを増やしていきます。

上牧町第5次総合計画（後期基本計画）評価シート

行政・安全安心

令和4年度事業

1. PLAN（計画）

分野	1-5 情報基盤	担当課
	③ マイナンバーカードの普及促進	住民保険課
施策の展開方向	●広報・SNSを活用した積極的な周知を図ることにより、マイナンバーカードの普及に努めます。 ●休日交付窓口の開設を行うほか、片岡台出張所での交付申請を可能にするなど、マイナンバーカードの取得を希望する住民の利便性向上を図ります。	

2. DO（実施結果）/CHECK（評価）/ACTION（今後の取組方針）

成果指標（KPI）の状況	戦略	基準値 R02	実績値 R03	実績値 R04	実績値 R05	実績値 R06	実績値 R07	実績値 R08	目標値 R08
マイナンバーカード交付率【%】	-	28.9 対前年増減→	41.3 +12.4	66.3 +25.0					100
上牧町におけるコンビニ交付による証明書等の発行率【%】	-	8.0 対前年増減→	14.6 +6.6	22.6 +8.0					20.0
		対前年増減→							

【評価：A…推進できている、B…推進しているが課題がある、C…推進できていない】

実施内容・成果 (DO)	評価 (CHECK)	課題・今後の取組方針 (ACTION)
取組① 広報・SNSを活用した周知の強化 【取組の概要（背景・目的等）】 開庁時間にマイナンバーカードの交付を受けられないかたへ向けて、休日及び夜間交付窓口があることの周知を行います。 【実施内容・成果（R04）】 上牧町広報において毎月年12回、LINEにおいては5月から毎月年11回の周知を行いました。	A	【今後の取組方針】 引き続き広報・SNSを活用し周知を行っていきます。
取組② 休日交付窓口の開設 【取組の概要（背景・目的等）】 開庁時間にマイナンバーカードの交付を受けられないかたへ向けて、休日及び夜間交付窓口を開設します。 【実施内容・成果（R04）】 毎月土曜日または日曜日に休日交付窓口を開設しました。 また、毎月1回夜間の交付窓口を開設することで休日以外の要望にも応えられるようになりました。 休日の交付は年間12回、205枚（人）の交付を行いました。	A	【今後の取組方針】 交付率が100%に近づくにつれ、休日交付の必要性が薄くなります。しかし、電子証明書の更新、個人番号カードの有効期限切れによる再交付等は今後も発生するので、状況を踏まえて休日交付の開設等を行っていきます。
取組③ 交付申請窓口の増設 【取組の概要（背景・目的等）】 効率的にマイナンバーカードを申請できるよう窓口を増設します。 【実施内容・成果（R04）】 マイナンバーカード申請用の専用の端末を導入しました。 専用の端末を導入することで、申請にかかる時間が1人あたりおおよそ15分から5分へと短くなり、待ち時間短縮につながりました。 ペガサスフェスタでの申請イベントを行い15人のかたが申請されました。 個人番号カード交付端末3台と申請用2台で対応を行い、効率よく交付・申請できるようになりました。	A	【今後の取組方針】 マイナポイントの期限に伴い、窓口での対応が多くなる見込みです。 交付と申請、マイナポイント対応を切り分けて対応し、待ち時間の短縮ができるように検討していきます。

上牧町第5次総合計画（後期基本計画）評価シート

行政・安全安心

令和4年度事業

1. PLAN（計画）

分野	1-6 公共施設	担当課
施策の展開方向	① 公共施設の適正な管理運営 ●町民の多様なニーズや利用目的にも柔軟に対応できるよう、公共施設の適正な管理運営に努めます。 ●施設の長寿命化や適切な維持管理により、施設を長く使用し、施設管理にかかる費用の圧縮を図ります。 ●老朽化した施設や利用率の低い施設については、複合化・多機能化を図り、利用者ニーズに対応した施設運営に取り組みます。 ●施設管理の手法について調査・研究し、効率的な管理運営、コスト削減に努めます。	総務課

2. DO（実施結果）/CHECK（評価）/ACTION（今後の取組方針）

成果指標（KPI）の状況	戦略	基準値 R02	実績値 R03	実績値 R04	実績値 R05	実績値 R06	実績値 R07	実績値 R08	目標値 R08
		対前年増減→							
		対前年増減→							
		対前年増減→							

【評価：A…推進できている、B…推進しているが課題がある、C…推進できていない】

実施内容・成果 (DO)	評価 (CHECK)	課題・今後の取組方針 (ACTION)
取組① 公共施設の管理運営会議の開催		総合戦略 -
【取組の概要（背景・目的等）】 公共施設の安全性の向上・長寿命化・効率化を目的に公共施設の管理運営会議に参加します。 【実施内容・成果（R04）】 公共施設包括管理委託に関する検討会に4回参加しました。 検討会を通じて、複数の施設の維持管理をまとめて元請であるマネジメント会社に委託し実作業は協力会社に再委託することについて、各市町村の方針や考え方を共有しました。	B	【課題】 包括管理委託を検討している協定締結済みの自治体は半数であり、導入予定についての具体的な予定が立っている自治体は2市町のみとなっています。 【今後の取組方針】 各市町で発注されている仕様内容等を整理・標準言語化した上で、標準仕様作成やDX活用の有効性等を複合的に研究していく必要があります。
取組② 長寿命化改修の推進		総合戦略 -
【取組の概要（背景・目的等）】 本庁舎を含む公共施設の継続的な維持修繕のために、長寿命化改修の推進を図ります。 【実施内容・成果（R04）】 庁舎内外の電灯のLED化、庁舎玄関前のスロープの修繕及び庁舎回りのレンガ修繕等、庁舎周りの改修・維持修繕等を実施しました。	B	【課題】 本庁舎を含む公共施設の継続的な維持修繕が必要であると考えます。 【今後の取組方針】 本庁舎については耐震安全性が確保されているため、本庁舎機能を長期的に維持できるように計画的な管理保全を行っていきます。 また、消防団屯所については一部耐震基準改正前の建物があるため耐震化または更新の検討を進めます。
取組③ 指定管理制度の活用や公共施設包括管理の導入に向けた検討		総合戦略 -
【取組の概要（背景・目的等）】 指定管理制度の活用や公共施設管理の導入に向けた検討を図ります。町民交流施設（公民館、老人憩の家、コミュニティセンター等）については、自治会またはシルバークラブを指定管理者として運営しています。 【実施内容・成果（R04）】 公共施設の包括管理については、公共施設包括管理委託に関する検討会を通して、各市町と導入に向けて研究しました。	B	【課題】 現在、町が様々な用途で建設した建物を、自治会又はシルバークラブに指定管理者となっていたが、地域コミュニティの場として利用されていますが、老朽化は年々進んでおり、また人口減少に伴う利用需要の変化もあり施設を維持管理することは困難な状況になりつつあります。 【今後の取組方針】 施設の管理運営について、最適な方策を今後も引き続き検討していきます。

上牧町第5次総合計画（後期基本計画）評価シート

行政・安全安心

令和4年度事業

1. PLAN（計画）

分野	1-6 公共施設	担当課
	② 市町村間での公共施設の相互利用	総務課
施策の展開方向	●住民サービスの充実を追求し、より魅力的なまちづくりを進めていくことを目的に、市町村間での公共施設の相互利用に取り組むとともに、利用促進のための情報発信に努めます。	

2. DO（実施結果）/CHECK（評価）/ACTION（今後の取組方針）

成果指標（KPI）の状況	戦略	基準値 R02	実績値 R03	実績値 R04	実績値 R05	実績値 R06	実績値 R07	実績値 R08	目標値 R08
公共施設の満足度【%】	○	14.7 対前年増減→	-	-					35.0
ペガサスホール利用日数（年間）【日】	-	84 対前年増減→	90 +6	91 +1					120
		対前年増減→							

【評価：A…推進できている、B…推進しているが課題がある、C…推進できていない】

実施内容・成果 (D0)		評価 (CHECK)	課題・今後の取組方針 (ACTION)
取組①	公共施設広域連携検討会の開催		総合戦略 基本目標.3
【取組の概要（背景・目的等）】 他市町村と連携することにより、効率的な施設運営を実施するための協議を重ねていきます。 【実施内容・成果（R04）】 広域連携検討会に6度参加し、他市町村と今後の方針を検討しました。また、施設の相互利用に関する協定を締結し、協定を締結した市町村間で実証実験を行いました。取組を知った御所市からも広域連携協定に参加の意思表示がありました。		B	【課題】 利用者側の課題としては、各対象施設での予約手続き方法があるため分かりづらいこと、e古都ならを使い始めるまでに手間がかかることなど、利用前段階で踏み止まってしまうステップがあることが明らかになりました。 管理者側の課題としては、従来と異なった運用方法への対応やデータ収集のための事務作業の負担増、市町外利用者が増加した場合の市町民利用者との利用・予約調整等が挙げられます。 【今後の取組方針】 今後も引き続き、広域連携の取組を検討会を通じて進めていきます。上牧町での施設の利用実績等を鑑み、今後の上牧町としての方針を定め、事業の推進を図っていきます。

上牧町第5次総合計画（後期基本計画）評価シート

行政・安全安心

令和4年度事業

1. PLAN（計画）

分野	1-7 防災	担当課
① 地域の防災力の向上		総務課
施策の展開方向	●自治会の防災活動を支援するとともに、防災訓練の実施や地域団体・学校等への防災訓練・防災教室の支援を通じて、関係機関、関係団体、地域、企業等と連携を強化し、防災・減災体制の充実に取り組みます。 ●子ども・若者・転入者の参加を促し、防災教育や次世代の担い手育成にも取り組みます。 ●町民や地域における自助・共助の取組を支援するとともに、自主防災組織の人員の確保と組織強化を支援します。 ●災害時における避難所の適正な確保・配置を行うとともに、ハザードマップの周知等に取り組むなど、防災力の強化に努めます。 ●地域の防災力強化を図るため、消防団員数の確保に取り組みます。	

2. DO（実施結果）/CHECK（評価）/ACTION（今後の取組方針）

成果指標（KPI）の状況	戦略	基準値 R02	実績値 R03	実績値 R04	実績値 R05	実績値 R06	実績値 R07	実績値 R08	目標値 R08
子ども防災意識の向上教室の開催数（年間）【回】	○	- 対前年増減→	- ±0	1 +1					1
地域防災訓練の支援回数（年間）【回】	○	- 対前年増減→	1 +1	2 +1					3
広域防災訓練開催に向けた検討会議の開催数（年間）【回】	○	- 対前年増減→	- ±0	- ±0					1
防災士資格取得支援者数（累計）【人】	-	116 対前年増減→	117 +1	118 +1					240

【評価：A…推進できている、B…推進しているが課題がある、C…推進できていない】

実施内容・成果 (DO)	評価 (CHECK)	課題・今後の取組方針 (ACTION)
取組① 子ども防災意識の向上		総合戦略 基本目標.3
【取組の概要（背景・目的等）】 災害時において命を守る行動を行えるよう子どもの防災意識の向上を図ります。	A	【今後の取組方針】 今後も子どもの防災意識の向上を図るためのイベントや教室の開催を行います。
【実施内容・成果（R04）】 ・地震発生を想定して、県内一斉に1分間身を守る行動を行う奈良県いっせい地震行動訓練（ナラ・シェイクアウト）への参加（7月11日） 本庁、町立保育所・幼稚園・小中学校の参加 ・子どもを含む全来場者を対象とした心肺蘇生、AED体験（11月3日ベガサスフェスタ）		
取組② 防災訓練の実施支援及び近隣自治体との広域連携		総合戦略 基本目標.3
【取組の概要（背景・目的等）】 防災訓練の実施支援や近隣自治体との広域連携を行うことで町の防災力向上を図ります。	B	【課題】 近隣自治体との広域連携訓練について協議が必要と考えます。
【実施内容・成果（R04）】 かんまき自主防災ネットワーク主催の以下2件のワークショップにおいて講演および講座内容の指導等を行いました。 ・令和4年11月20日 コロナ感染症に配慮した一次救命処置ワークショップ ・令和5年2月26日 コロナ禍の災害対策ワークショップ		【今後の取組方針】 今後も防災訓練の実施支援等を行い、上牧町内の防災意識の向上を図っていきます。 広域連携について、北葛城郡各町と協議を進めていきます。
取組③ 防災訓練の充実による自治会、職員の育成		総合戦略 -
【取組の概要（背景・目的等）】 防災訓練を行うことで町民・職員の育成を行い、町の防災力向上を図ります。	B	【今後の取組方針】 訓練が中止となったため、令和5年度開催に向けて調整を図っていきます。 防災士資格の取得支援を継続的にを行います。
【実施内容・成果（R04）】 3校区（自治会対象）に分けての避難所開設訓練を実施する予定ではありましたが、新型コロナウイルス感染拡大に伴い、訓練実施を中止しました。 防災士資格の取得者について、令和4年度は1名のかたが資格取得されました。令和4年度末において町内の防災士は118名となっています。		

【評価：A…推進できている、B…推進しているが課題がある、C…推進できていない】

実施内容・成果 (D0)		評価 (CHECK)	課題・今後の取組方針 (ACTION)
取組④ 消防団への加入促進			総合戦略 -
【取組の概要（背景・目的等）】 上牧町消防団への加入を促進し、地域の消防力の強化を図ります。 【実施内容・成果（R04）】 消防団員確保に向けて、ホームページ掲載やイベントにおいての募集、消防団員処遇改善として「上牧町消防団条例」の改正（在勤者の入団、報酬の見直し）を行いました。 （団員数 令和3年度 114人 令和4年度 113人）		B	【課題】 消防団員数が全国的にも減少しており深刻な状況となっています。 【今後の取組方針】 本町においても減少傾向にあり、消防団の知名度・イメージアップを図るための取組を行っていきます。

上牧町第5次総合計画（後期基本計画）評価シート

行政・安全安心

令和4年度事業

1. PLAN（計画）

分野	1-7 防災	担当課
	② 災害時の救急医療体制強化	総務課
施策の展開方向	●近隣町や民間医療機関との連携のもと、災害医療情報について、広域的に医療機関情報等を収集し、提供に努めます。	

2. DO（実施結果）/CHECK（評価）/ACTION（今後の取組方針）

成果指標（KPI）の状況	戦略	基準値 R02	実績値 R03	実績値 R04	実績値 R05	実績値 R06	実績値 R07	実績値 R08	目標値 R08
災害時における連携協定締結件数【件】	-	39	41	46					42
		対前年増減→	+2	+5					
		対前年増減→							
		対前年増減→							

【評価：A…推進できている、B…推進しているが課題がある、C…推進できていない】

実施内容・成果 (D0)		評価 (CHECK)	課題・今後の取組方針 (ACTION)
取組①	医療機関との災害時救助支援協定の締結		総合戦略 -
【取組の概要（背景・目的等）】 医療機関との災害時救助支援協定を締結することで、災害発生時における救急医療体制の強化を図ります。 【実施内容・成果（R04）】 新型コロナウイルス感染拡大の影響により、協議を進めることができませんでした。		B	【今後の取組方針】 災害発生時に即座に対応するため、医師会等の医療機関及び動物病院との協定締結を進め、災害時の救急医療体制の強化を進めていきます。

上牧町第5次総合計画（後期基本計画）評価シート

行政・安全安心
令和4年度事業

1. PLAN（計画）

分野	1-7 防災	担当課
	③ 消防防災体制の強化	総務課
施策の展開方向	●災害時等における危機管理体制の整備を進めるとともに、近隣町と連携して広域消防体制の充実強化を図ります。 ●災害時の情報や情報のネットワークの充実を図ります。 ●予測を上回る状況下での優先的に実施すべき業務を特定し、業務の執行体制や対応手順を整理するとともに、組織として共有し適切な業務執行の充実を図ります。 ●避難所となる公共施設については、マンホールトイレや備蓄物資の充実等、防災拠点としての環境整備を行います。	

2. DO（実施結果）/CHECK（評価）/ACTION（今後の取組方針）

成果指標（KPI）の状況	戦略	基準値 R02	実績値 R03	実績値 R04	実績値 R05	実績値 R06	実績値 R07	実績値 R08	目標値 R08
災害時における連携協定締結件数【件】	-	39	41	46					42
		対前年増減→	+2	+5					
		対前年増減→							
		対前年増減→							

【評価：A…推進できている、B…推進しているが課題がある、C…推進できていない】

実施内容・成果 (DO)	評価 (CHECK)	課題・今後の取組方針 (ACTION)
取組① 近隣町との広域消防体制の強化		総合戦略 -
【取組の概要（背景・目的等）】 近隣町の防災担当との情報交換等を行い、災害時における消防体制を含む防災体制の強化を図ります。 【実施内容・成果（R04）】 北葛城郡4町の防災担当者や防災訓練の実施に向けた協議を行いました。また、他の自治体での実施状況や実施内容等の調査研究を行いました。	B	【課題】 近隣自治体との広域連携訓練について協議が必要と考えます。 【今後の取組方針】 消防防災力強化のため広域連携について、北葛城郡各町と協議を進めていきます。
取組② 防災拠点の環境整備		総合戦略 -
【取組の概要（背景・目的等）】 有事の際に滞りなく防災活動を行うため、防災拠点の環境整備を行います。 【実施内容・成果（R04）】 上牧町消防団第2分団西部第1分隊（北上牧）屯所の改築に向けての設計業務を実施しました。 また、防災拠点整備（上牧第二中学校）のための検討を行いました。	B	【課題】 上牧町消防団第1分団北部第2分隊（片岡台）屯所及び第2分団西部第1分隊（北上牧）屯所が新耐震基準に適合していない状況です。 【今後の取組方針】 令和5年度において上牧町消防団第2分団西部第1分隊（北上牧）屯所の改築工事を実施します。また、上牧町消防団第1分団北部第2分隊（片岡台）屯所の改築設計を行います。
取組③ 災害時情報発信ネットワークの充実		総合戦略 -
【取組の概要（背景・目的等）】 防災行政無線等すべての町民へ災害時に情報を提供できる環境の整備を行います。 【実施内容・成果（R04）】 松里園地区における既設屋外子局有線延長増設工事を実施し、防災行政無線の聞き取り状況の改善を行いました。 防災・防犯情報をお知らせする「お知らせメール」の登録について、広報やホームページ、イベント、窓口業務において啓発活動を行いました。また、スマートフォンの利用が困難な方に向けて「お知らせメール」やLINEの登録方法や緊急時におけるインターネットでの情報収集の方法等を含めたスマートフォン教室・相談会を開催しました。 (登録者数 令和3年度 1,717人 令和4年度 1,791人)	B	【課題】 町内全域において、防災行政無線の聞こえやすさを安定させることが課題となっています。 【今後の取組方針】 町内での防災行政無線の聞こえにくい場所について改善方法を模索し、改善を図ります。 「お知らせメール」についても継続して、啓発普及活動を進めていきます。

【評価：A…推進できている、B…推進しているが課題がある、C…推進できていない】

実施内容・成果 (DO)		評価 (CHECK)	課題・今後の取組方針 (ACTION)	
取組④ 行政間及び民間との協定締結等による応援体制の充実			総合戦略	-
【取組の概要（背景・目的等）】 災害時における連携協定等を締結することで応援体制の充実を図ります。 【実施内容・成果（R04）】 行政間及び民間と5件の災害時における連携協定等を締結しました。 ・電気自動車及び再生可能エネルギーを核とした災害に強いカーボンニュートラルな地域づくりに係る包括連携協定（日産自動車株式会社・奈良日産自動車株式会社） ・被災者生活再建支援制度の実施にかかる事務委託契約（公益財団法人都道府県センター） ・災害時におけるキッチンカーによる物資の供給等に関する協定（株式会社メルカート） ・大規模災害時における道路啓開や停電復旧に係る応急措置の実施の支障となる障害物等の除去に関する覚書（関西電力送配電株式会社） ・奈良県震度情報ネットワークシステムに関する協定書（奈良県） （協定件数 令和2年度 39件 令和3年度 41件 令和4年度 46件）		A	【今後の取組方針】 今後も様々な分野での災害時における連携協定を締結していきます。	
取組⑤ 災害時要配慮者の避難支援体制の強化			総合戦略	-
【取組の概要（背景・目的等）】 避難が困難な状況である町民に災害時要配慮者として登録してもらうことで、災害時の避難支援体制の強化を行います。 【実施内容・成果（R04）】 新規転入者への案内を中心に本事業の啓発を行いました。また、現在登録されているかたの現況調査を行い、台帳の整理を行いました。 （登録者数 131名）		B	【課題】 本事業について、再度住民への周知が必要と考えます。 【今後の取組方針】 新規転入者以外の町民への啓発として、町広報誌やホームページへの掲載等を行うことで、災害時要配慮者として支援が必要なかたへの周知を行います。	

上牧町第5次総合計画（後期基本計画）評価シート

行政・安全安心

令和4年度事業

1. PLAN（計画）

分野	1-7 防災	担当課
	④ 治山・治水	まちづくり推進課
施策の展開方向	●土砂災害計画区域の指定に基づき、安全管理に努めます。 ●森林の有する公益的機能の維持増進に努めます。 ●無秩序な開発行為の防止に努めます。 ●大和川流域総合治水対策としての防災・安全対策に則ったため池貯留浸透事業の実施に努めます。	

2. DO（実施結果）/CHECK（評価）/ACTION（今後の取組方針）

成果指標（KPI）の状況	戦略	基準値 R02	実績値 R03	実績値 R04	実績値 R05	実績値 R06	実績値 R07	実績値 R08	目標値 R08
		対前年増減→							
		対前年増減→							
		対前年増減→							

【評価：A…推進できている、B…推進しているが課題がある、C…推進できていない】

実施内容・成果 (DO)	評価 (CHECK)	課題・今後の取組方針 (ACTION)
取組① 開発指導要綱に基づいた開発指導		総合戦略 -
【取組の概要（背景・目的等）】 開発事業等に対し適切な指導を行い、より良好な生活環境の維持・保全を図り秩序あるまちづくりに寄与することを目的とする。 【実施内容・成果（R04）】 令和4年度において、開発事前協議は4件指導しました。その中で特に重点的に指導した内容として、一定規模以上の宅地開発については、大和川流域における治水のため調整池等を設けるよう指導しました。また、工事車両の通行経路が小中学校の校区内にあるものについては、関係各課と協調して安全対策を徹底するよう指導しました。 また、開発許可申請については5件の申請があり、内容について確認し、「都市計画法上支障がないこと」を県に副申しました。	A	【今後の取組方針】 宅地開発に対し、良好な生活環境の形成と秩序あるまちづくりの実現に向けた取組を行います。また、本町で行われる開発行為について関係各課と事前協議を行い、上牧町としての意見書を取りまとめ開発事業者に対し指導を行います。特に開発地が通学路に面している場合は、十分な交通安全対策を講ずるよう開発業者に対し、関係各課と協議をして指導を行っていきます。 「上牧町住宅地等開発事業に関する指導要綱」及び「上牧町小規模住宅地等開発事業に関する指導要綱」の改定に向けて参考になるような他市町村の開発指導要綱の調査を行い、内容について研究していきます。

上牧町第5次総合計画（後期基本計画）評価シート

行政・安全安心

令和4年度事業

1. PLAN（計画）

分野	1-7 防災	担当課
	④ 治山・治水	建設環境課
施策の展開方向	●土砂災害計画区域の指定に基づき、安全管理に努めます。 ●森林の有する公益的機能の維持増進に努めます。 ●無秩序な開発行為の防止に努めます。 ●大和川流域総合治水対策としての防災・安全対策に則ったため池貯留浸透事業の実施に努めます。	

2. DO（実施結果）/CHECK（評価）/ACTION（今後の取組方針）

成果指標（KPI）の状況	戦略	基準値 R02	実績値 R03	実績値 R04	実績値 R05	実績値 R06	実績値 R07	実績値 R08	目標値 R08
大和川流域総合治水対策容量【%】	-	33.0 対前年増減→	44.0 +11.0	44.0 ±0					100
		対前年増減→							
		対前年増減→							

【評価：A…推進できている、B…推進しているが課題がある、C…推進できていない】

実施内容・成果 (DO)		評価 (CHECK)	課題・今後の取組方針 (ACTION)
取組①	流域対策施設（ため池）整備事業の推進		総合戦略 -
【取組の概要（背景・目的等）】 大和川流域総合治水対策として、町内のため池において、貯留浸透事業を進めています。 また、町内に流れる河川において、防災・安全対策の観点からハザードマップの作成を行い、防災意識の向上を図ります。 【実施内容・成果（R04）】 ため池貯留浸透事業として、中山谷池、秩父池における貯留浸透施設の改修を目的とした測量設計業務を実施しました。 ため池貯留浸透対策予定量としては、中山谷池で2,782㎡、秩父池で5,861㎡の治水量を確保できることが測量設計業務で確認できました。 事業における対策容量及び対策率としては、令和4年度末時点で9,423㎡、44%であり、対策工事完了後の令和5年度末時点では18,066㎡、84%となる予定です。（目標対策容量、21,600㎡） 県において水位周知河川以外の管理河川（その他河川）について、洪水浸水想定区域図を令和4年度末を目前に県内全水系で作成されました。この浸水想定区域図の公表を受け、令和5年度に滝川における洪水ハザードマップの作成に向けた準備を行いました。		A	【今後の取組方針】 ため池治水対策の可能性の高いため池（6池）について、自治会並びに水利組合等に調査結果をもとに事業内容の説明を行い事業実施の合意を得て、現況余水吐けの切下げ工法により治水対策を進めていきます。しかし、平成30年度の予備調査業務結果では、当該工法のみでは目標治水対策量を達成できないとの検討結果となりました。 そのため、水田貯留による対策容量を確保する新たな治水対策工法を検討する必要があります。現在の現況余水吐けの切下げ工法による対策が完了した後には、新たな予備調査を実施し目標治水対策容量である21,600㎡の達成を目指していきます。

上牧町第5次総合計画（後期基本計画）評価シート

行政・安全安心

令和4年度事業

1. PLAN（計画）

分野	1-8 安全安心・防犯	担当課
施策の展開方向	① 安全安心なまちづくり ●交通安全施設等の設置や危険箇所の早期改良など、障がい者や高齢者、子ども等、誰もが安心できる道づくりを進めます。 ●危険箇所、通過交通の多い箇所について、交通安全施設の設置を進めます。特に通学路については、交通安全施設の重点的整備を図ります。 ●ドライバーに対して交通マナーの啓発を進めます。 ●子どもや高齢者などに対し、交通安全意識の啓発を進めます。 ●特殊詐欺等の被害に遭わないよう、防犯意識の啓発を推進します。	総務課

2. D0（実施結果）/CHECK（評価）/ACTION（今後の取組方針）

成果指標（KPI）の状況	戦略	基準値 R02	実績値 R03	実績値 R04	実績値 R05	実績値 R06	実績値 R07	実績値 R08	目標値 R08
高齢者自転車用ヘルメット購入費補助件数（累計）【件】	-	38	64	112					100
		対前年増減→	+26	+48					
		対前年増減→							
		対前年増減→							

【評価：A…推進できている、B…推進しているが課題がある、C…推進できていない】

実施内容・成果 (D0)	評価 (CHECK)	課題・今後の取組方針 (ACTION)
取組① 町内の危険箇所における交通安全施設等の設置 【取組の概要（背景・目的等）】 町内の危険箇所について必要に応じて交通安全施設の設置を行います。 【実施内容・成果（R04）】 教育総務課が主として行った10月6日開催の上牧町通学路合同点検において、西和警察署および道路管理者・各担当課で危険箇所の確認を行い、必要に応じた交通安全施設等の設置について共有を行いました。	A	【今後の取組方針】 今後も危険箇所の把握、共有を各関係団体と行い、必要に応じて交通安全施設等の設置の要望を行っていきます。
取組② 交通安全教室の開催 【取組の概要（背景・目的等）】 町内の小学校、幼稚園及び保育園を対象に交通安全教室を開催することで、子どもの交通安全への意識づけを行いました。 【実施内容・成果（R04）】 以下の日程で西和警察署および交通安全協会上牧町分会と協力して交通安全教室を開催しました。 ・上牧小学校 5月25日開催 ・上牧第二小学校 6月2日開催 ・上牧第三小学校 6月28日開催 ・上牧幼稚園 5月23日開催 ・第一保育所・慈光保育園・黎明保育園・やまびこ保育園 12月7日開催 ・片岡台幼稚園 6月16日開催	A	【今後の取組方針】 令和5年度についても各保育所、幼稚園、小学校で交通安全教室を開催します。
取組③ 高齢者に対する運転免許返納の啓発 【取組の概要（背景・目的等）】 高齢者ドライバーへの安全運転の啓発、また加齢による自動車の運転が困難である町民には運転免許証の返納についての啓発を行い、高齢者ドライバーによる交通事故の軽減に努めます。 【実施内容・成果（R04）】 町文化祭「ペガサスフェスタ」において、高齢者を対象とした「自動車シミュレーター」を使った参加・体験型の交通安全教室を実施しました。	B	【課題】 交通事故が頻繁に発生する場所での啓発活動が必要と考えます。 【今後の取組方針】 今後、高齢者ドライバーへの自動車運転に関する啓発内容および方法について調査・研究を行います。

【評価：A…推進できている、B…推進しているが課題がある、C…推進できていない】

実施内容・成果 (D0)		評価 (CHECK)	課題・今後の取組方針 (ACTION)
取組④ 高齢者自転車用ヘルメット購入費用補助			総合戦略 -
【取組の概要（背景・目的等）】 自転車用ヘルメットの購入費の一部を補助し、自転車運転時にヘルメットの着用を行うことで、運転時における交通安全意識の向上を図ります。 【実施内容・成果（R04）】 高齢者及び7～18歳を対象に、件数48件、121,300円の補助を行いました。		B	【課題】 補助対象者に年齢制限を設けているため、道路交通法の改正に伴い全ての自転車に乗るかたにヘルメットの補助が必要と考えます。 【今後の取組方針】 令和5年4月1日に施行される改正道路交通法で、年齢を問わない自転車に乗車するすべての者にヘルメット着用の努力義務が課せられることとなることに伴い、補助対象者をすべての年齢とすることで広く自転車用ヘルメット着用の促進を図り、交通安全対策の推進を図っていきます。
取組⑤ 特殊詐欺被害防止のための防犯電話購入費補助			総合戦略 -
【取組の概要（背景・目的等）】 高齢者を対象に、防犯電話購入費の一部を補助することで特殊詐欺被害の防止を図ります。 【実施内容・成果（R04）】 件数33件、165,000円の補助を行いました。		A	【今後の取組方針】 令和5年度においても引き続き防犯電話購入費補助に取り組んでいきます。

上牧町第5次総合計画（後期基本計画）評価シート

行政・安全安心

令和4年度事業

1. PLAN（計画）

分野	1-8 安全安心・防犯	担当課
	② 緊急医療の充実	生き活き対策課
施策の展開方向	●近隣町や民間医療機関と連携し、救急医療情報の的確な情報提供に努めます。 ●救急医療の役割に関しても、普及啓発を図り、町民の理解と協力を得ながら、救急医療の充実を図ります。	

2. DO（実施結果）/CHECK（評価）/ACTION（今後の取組方針）

成果指標（KPI）の状況	戦略	基準値 R02	実績値 R03	実績値 R04	実績値 R05	実績値 R06	実績値 R07	実績値 R08	目標値 R08
緊急通報装置新規申請件数【世帯】	-	38 対前年増減→	29 -9	51 +22					40
		対前年増減→							
		対前年増減→							

【評価：A…推進できている、B…推進しているが課題がある、C…推進できていない】

実施内容・成果 (DO)	評価 (CHECK)	課題・今後の取組方針 (ACTION)
取組① 町内民間医療機関との連携強化		総合戦略 -
【取組の概要（背景・目的等）】 病院から在宅へシームレスな移行ができ、介護が必要なかたが安心して病院への入退院と在宅療養ができる環境づくりを目的に、保健所主導のもと西和地域7町と医療機関、ケアマネジャー等が連携しています。 【実施内容・成果（R04）】 令和4年10月の1か月間を対象に「西和地域7町における入退院連携マニュアル」を利用している状況調査として、西和6病院（※）および西和7町のケアマネ事業所を対象に入退院連携実施状況のアンケート調査を実施しました。結果、入院時にケアマネジャーが病院へ提出する情報提供書の提出率は令和3年度100%から91.3%へ、退院時に病院からケアマネジャーへ連絡をする退院調整率が前年度の82.5%から80.6%へと下落しました。原因として、退院調整マニュアルを運用する病院・ケアマネ双方の人の入れ替わり等によりルール周知ができない可能性が挙げられています。引き続き退院調整率の高い水準が維持できるよう事業を実施します。 ※西和6病院：西和医療センター、ハートランドしぎさん、恵王病院、服部記念病院、奈良友誼会病院、西大和リハビリテーション病院	B	【課題】 令和3年度から退院調整率が下がっているため、今後は退院調整ルールの浸透、連携の質、圏域外病院との連携が必要となります。 【今後の取組方針】 令和5年度は7町主体で退院調整に関する新人向け研修を実施します。

上牧町第5次総合計画（後期基本計画）評価シート

行政・安全安心

令和4年度事業

1. PLAN（計画）

分野	1-8 安全安心・防犯	担当課
	③ 自主防犯活動の推進	秘書人事課
施策の展開方向	●自治会やPTA等による自主的な防犯活動や事業者による防犯対策を促進するとともに、ボランティア活動の積極的な活用と人材の育成を図ります。そのためには現在一部の地域で行われている自主防犯組織を町内の各地域にも広め、町内全体に防犯拠点の確保に努めます。	

2. DO（実施結果）/CHECK（評価）/ACTION（今後の取組方針）

成果指標（KPI）の状況	戦略	基準値 R02	実績値 R03	実績値 R04	実績値 R05	実績値 R06	実績値 R07	実績値 R08	目標値 R08
自主防犯活動者育成セミナーの開催回数【回】	-	- 対前年増減→	- ±0	- ±0					1
		対前年増減→							
		対前年増減→							

【評価：A…推進できている、B…推進しているが課題がある、C…推進できていない】

実施内容・成果 (DO)	評価 (CHECK)	課題・今後の取組方針 (ACTION)
取組① 自主防犯活動の支援		総合戦略 -
【取組の概要（背景・目的等）】 町民・警察・行政等が一体となって、地域のつながりにより犯罪を未然に防ぎ、地域で助け合うことができる安全で安心なまちを目指します。 【実施内容・成果（R04）】 上牧町自治連合会に対し、防犯活動の支援に対する補助金を交付しました。 上牧町自治連合会は補助金を活用し、防犯活動出発式を実施しました。各自治会の皆さんが、パトロールや立哨等を始めとする防犯活動を主体的に実践することで、防犯意識の向上やコミュニティの結束力の向上、犯罪被害の減少等、様々な成果が得られ、安全・安心な生活をしていただくことができたと考えます。また、防犯ポスター及びのぼりを各自治会に配布し、防犯活動の啓発に取り組みました。	B	【課題】 防犯活動や防犯意識の向上など成果はありましたが、自主防犯組織の結成はできていません。 【今後の取組方針】 上牧町自治連合会に対し補助金を交付し、防犯活動の援助を支援します。 安全安心なまちづくりの根幹を担う住民の皆さんの防犯活動を継続していくために、自主防犯活動の推進、担い手の確保など、他自治体の取組を参考にしながら支援のあり方について検討を進めていきます。
取組② 自主防犯活動者の育成		総合戦略 -
【取組の概要（背景・目的等）】 地域における防犯活動の中心となる町民を育成することにより、自主防犯活動を推進します。 【実施内容・成果（R04）】 上牧町自治連合会において、西和警察署生活安全課より講師を招き、地域での防犯活動について研修会を実施しました。	B	【課題】 防犯活動についての研修会は実施できましたが、「自主防犯活動者育成セミナー」の開催はできませんでした。 【今後の取組方針】 安全安心なまちづくりの主幹を担う住民の皆さんの防犯活動を継続していくために、自主防犯活動の推進、担い手の確保、「自主防犯活動者育成セミナー」の実施等、他自治体の取組を参考にしながら活動者の育成について検討を進めていきます。

上牧町第5次総合計画（後期基本計画）評価シート

行政・安全安心

令和4年度事業

1. PLAN（計画）

分野	1-8 安全安心・防犯	担当課
施策の展開方向	④ 子どもを守るまちづくりの推進 ●学校、保護者、地域と連携を図りながら、子どもの安全教育や施設及び通学路の安全点検、防犯対策を推進します。 ●子どもはもとより、女性や高齢者にとっても安全で安心なまちづくりのために防犯に配慮した公園や道路空間の整備を推進するとともに、町職員等による防犯パトロールを推進します。 ●犯罪の抑止力や発生後の早期解決を図るため、主要幹線道路、交差点、通学路等の危険な箇所に防犯カメラの設置を積極的に推進します。	総務課

2. DO（実施結果）/CHECK（評価）/ACTION（今後の取組方針）

成果指標（KPI）の状況	戦略	基準値 R02	実績値 R03	実績値 R04	実績値 R05	実績値 R06	実績値 R07	実績値 R08	目標値 R08
防犯カメラ設置台数【台】	○	24 対前年増減→	30 +6	36 +6					36
		対前年増減→							
		対前年増減→							

【評価：A…推進できている、B…推進しているが課題がある、C…推進できていない】

実施内容・成果 (DO)	評価 (CHECK)	課題・今後の取組方針 (ACTION)
取組① 防犯活動の支援		総合戦略 基本目標.3
【取組の概要（背景・目的等）】 防犯カメラの設置やパトロール等を行うことで町内の犯罪を未然に防ぐ役割を担います。 【実施内容・成果（R04）】 以下のとおり実施しました。 ・町民・行政・西和警察署が一体となり犯罪から守るべく防犯パトロールの強化を実施しました。 ・防犯カメラについては、新たに6台設置を行い、合計36台の設置を完了しました。また、通学路合同点検を行い、上牧第二中学校梅ヶ丘側階段が危険箇所であると判断されたため令和5年度に防犯カメラの設置を計画しています。 ・交通安全協会上牧町分会、PTAや各地区の見守り隊による立哨を実施しました。	B	【課題】 防犯カメラについて、今後も学校再編による通学路の変更や服部台明星線の道路開通等の環境の変化に注視し、危険箇所について防犯カメラの設置検討を行う必要があると考えます。 【今後の取組方針】 今後も青パトによる防犯パトロールや立哨活動による防犯体制の強化を図り、危険箇所について防犯カメラの設置検討を行っていきます。

上牧町第5次総合計画（後期基本計画）評価シート

行政・安全安心

令和4年度事業

1. PLAN（計画）

分野	1-8 安全安心・防犯	担当課
	⑤ 消費者行政の推進	秘書人事課
施策の展開方向	●多様化・複雑化する消費者トラブルに関する相談に迅速かつ的確に対応するため、消費生活相談をはじめとする消費者被害救済体制の充実を図ります。	

2. D0（実施結果）/CHECK（評価）/ACTION（今後の取組方針）

成果指標（KPI）の状況	戦略	基準値 R02	実績値 R03	実績値 R04	実績値 R05	実績値 R06	実績値 R07	実績値 R08	目標値 R08
消費者教育講座の参加者数（年間）【人】	-	-	-	-					100
		対前年増減→	±0	±0					
		対前年増減→							
		対前年増減→							

【評価：A…推進できている、B…推進しているが課題がある、C…推進できていない】

実施内容・成果 (D0)	評価 (CHECK)	課題・今後の取組方針 (ACTION)
取組① 消費生活相談窓口の開設 【取組の概要（背景・目的等）】 消費者トラブルに関する相談に迅速かつ的確に対応するため、相談窓口を開設します。 【実施内容・成果（R04）】 役場1階市民相談室において、契約・架空請求・ネットトラブル等あらゆる分野の消費者相談に対応する窓口を週2回開設しています。（13時～17時（火曜日）、9時～13時（木曜日）） なお、住民（相談者）の利便性を考え、河合町と連携し、相談体制を構築しています。	A	【今後の取組方針】 消費生活相談員と連携して今後も窓口相談を続け、外国人のかたからの相談も受け付けられるように、多言語対応したチラシを作成します。
取組② 詐欺被害防止啓発活動の実施 【取組の概要（背景・目的等）】 多様化・複雑化する昨今の詐欺による消費者トラブルを町民に啓発することで、詐欺被害の防止に努めます。 【実施内容・成果（R04）】 町内全戸に啓発用カード（消費生活相談の案内）の配布及び啓発物品（クリアファイル）の配布を行いました。 ベガスフェスタにおいて、啓発物品（ティッシュ、ボールペン、メモ）を配布しました。	A	【今後の取組方針】 より多くの人々に周知するため、啓発物品をベガスフェスタや消費者啓発出前講座等で配布します。
取組③ 消費者教育講座の開催 【取組の概要（背景・目的等）】 多様化・複雑化する消費者トラブルを町民に啓発することで、消費者トラブルの被害防止に努めます。 【実施内容・成果（R04）】 消費者教育講座の開催準備をしており、令和5年度に開催する予定です。	B	【課題】 数年間開催できていなかったこともあり、来年度の開催に向けてその時の情勢や多い苦情、問合せを鑑みて啓発を促す講座内容を検討します。 【今後の取組方針】 消費生活相談者は高齢者層が多数です。そこで、社会教育課と連携し、高齢者層の参加者が多い高齢者（やよい）・婦人（さゆり）学級の方たちを対象とした消費者啓発出前講座を開催します。